2023（令和５）年３月10日発行

No. 82

鹿私幼だより

会　報

（一社）鹿児島県私立幼稚園協会
発行人／上原　樹縁　編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号
（プロパンガス会館５階 502 号室）
TEL099-285-6688 FAX099-285-6689
ホーム･ページ　http：//muzoca.net
E-Mail　jimukyoku@muzoca.net

『こどもがまんなか』への パラダイムシフト

鹿児島県私立幼稚園協会
会長　上　原　樹　縁

昨年は，不安定な国際情勢，円安，そしてエネルギー価格や食品の高騰に見舞われました。３年間続いたコロナ禍と相まって，子育て世帯にとっては大きな重しとなりました。これらは，私たち学校法人や園にとっても大きな痛手となりました。一日も早い回復を祈るばかりです。また，バス置き去り事件や不適切な保育といったニュースにも多く触れ心痛めることでした。改めて保育者一人ひとりが，命の尊厳や安心安全の徹底という重責を自分事として捉え，あらゆる手段を講じて未然に防ぐことを心掛けなければなりません。国からも安全対策としての補助事業を創出していただけるようですが，まずは人的環境整備にも努めヒューマンエラーから発生する事故を防いでいきましょう。

ところで，国ではこども家庭庁が本年４月に設置されます。これまで私たち全日本私立幼稚園連合会が提案してきた「こどもがまんなか」へのパラダイムシフトは，日本社会が持続するための必然であり，もはや後送りすることはできません。「共働き家庭の増加」＝「施設保育の長時間化」ではなく，「こどもが家庭で過ごす時間の担保」＝「家事子育ての父親分担」＝「働き方改革」という方向性のもと，「就労支援から子育ての支援へ」「幼児教育・保育の量の確保から質の向上へ」と政策をシフトし，十分な財政措置が講じられるべきと考えます。岸田総理の「異次元の少子化対策」をこれらの政策へとシフトしていくことを切に望みます。

私たち教育・保育関係者だけでなく全てのご家庭において，子どもの「なぜ？」「どうして？」に向き合える時間（所謂，子ども時間）が創出されるよう期待します。これらの課題を解決していくことは，私たち幼児教育・保育機能の伸びしろがより一層の広がりや深みを帯び，地域社会に貢献し得ることにも繋がっていきます。

各法人･園に於かれましては，理念（ビジョン）や建学の精神をこれまで以上に追求し，地域に根差した園づくりに努力し続けていかれることでしょう。これからも，すべての先生方の力を結集し，幼児教育・保育という未来社会への貢献活動に主体的に取り組んでいきましょう。そして，子どもの最善の利益のための更なる「上質の教育･保育」を有言実行していきましょう。

教育研究委員会

コロナ禍３年目における各種研修会の実施について（報告）

教育研究委員長　室屋　賢三

Ⅰ　令和４年度の活動を振り返って

令和４年度の協会が開催する各種研修会は、新型コロナ感染症が猛威を振るう中での３年目を迎えることとなった。過去２年間においては、感染の拡大防止の観点から研修の中止やZoom を活用したオンライン形式のみの研修の開催であったが、本年度は、可能な限り対面での実施やハイブリッドでの開催をめざして各種研修会を開催した。

今後は、新型コロナ感染症は規制緩和の方向性ではあるが、対面、オンライン、ハイブリッド形式など、感染予防に留意しながら会員の資質向上につながる各種研修会を開催していきたい。

１　新規採用教員研修会

新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、感染対策を十分にとり、４月４日に第１回を12月26日に第２回を対面で行った。受講者からは、「コロナ禍にもかかわらず対面での研修会が有難かった」という感想が多数あり、対面での研修会の良さを改めて感じることができた。

２　主任等研修会

主任等研修会は６月23日に対面で実施した。３つの講話においては、講師を子どもネットリスク教育研究会、日本赤十字鹿児島支部、県児童相談所に依頼し、今日的課題と現状等について講話をしていただいた。どの分野の講話も興味深いお話しであり、好評であった。行政との連携という点からも意義のある研修会となった。

３　第23回乳幼児教育・保育実践講座

昨年まで免許状更新講習を兼ねた研修会として実施していたが、免許状更新講習が国の施策として発展的解消となったため免許状更新講習は中止とし、感染対策を十分にして講座のみ１日開催として対面でおこなった。

内容としては、今年度はマネジメント分野の研修を２時間取り入れたほか、県教育庁の人権同和教育課及び義務教育課の２課からも支援をいただき講座を開催した。

次年度も、免許状更新講習の発展的解消に伴い、１日のみの講座開催の方向で検討している。

４　第61回鹿児島県教職員研修大会姶良・伊佐大会

第61回鹿児島県教職員研修大会姶良・伊佐大会は、新型コロナ感染症拡大防止の観点から、県大会大会として初めて７月25日、26日に分科会をオンライン形式で、全体会をホテル京セラからハイブリッド形式で行った。

本年度も昨年度と同じように各支部・ブロックごとのホストを中心にしたプロジェクトチームが分科会で、問題提起園の発表やブレイクアウトルームを活用しての研究協議等の支援を行った。

昨年度の九州大会でのホストの経験が生かされ、各分科会はスムーズに運営がなされた。また、全体会においては、姶良・伊佐地区の園紹介や鳴門教育大学の佐々木先生の講演をZoom で拝聴するなど、今後の県大会運営のたたき台になったように思える。

５　マネジメント（旧キャリアアップ）研修会

第１回マネジメント研修会を、10月18日、第２回を２月２日に対面で開催した。この研修会は、中核リーダー等15時間のマネジメント研修が必須要件であることから令和元年度から実施している研修である。保育所等のキャリアアップ研修と名称が同じであったために混乱を招きやすいことから本年度途中からマネジメント研修に名称を変更した。

講師には１・２回連続して担当する講師と２回目のみの講師に依頼し、マネジメントに特化した内容の研修を行った。

６　保育教諭等研修会

保育教諭等研修会を11月９日及び10日の２日間にわたって８つの講座を県の受託事業としてオンライン形式で開催した。県からのオンライン形式での開催要請があったため対面での開催はできなかったが、やはり対面での開催を実施する方が受講者には、負担が少ないように思われた。

次年度は、内容も豊富な研修会だけに感染予防を徹底して、対面で開催できるように準

備したい。

7　第26回幼稚園等教育改善研究会

例年2日間にわたって開催していた研修会であったが、昨年度に引き続き本年度も，コロナ防止の観点から1月19日にオンライン形式及び対面のハイブリッド形式で開催した。教職員研修大会以外では初めてのハイブリッド形式であったが、今後の開催方法の方向性を示すこととなった。

交流会は3年連続中止となっている。園長先生方の参加も少なくなっており交流の機会も減少していることから、例年どおり、情報交換の場となってほしいと考える。

鹿児島市と各地区とで交互に会場を変えて開催してきていたが，一昨年から会員の参加のし易さ等を考慮して，当分の間，鹿児島市で開催することになっている。今後も鹿児島市での開催を継続していきたい。

8　特別支援教育スキルアップ研修

一昨年、昨年度に引き続き、「特別支援教育スキルアップ研修」を2月14日に対面形式で実施した。講師には、直接保護者や児童生徒に携わっている鹿児島市のスクールソーシャルワーカー及び県立養護学校の教諭に講話を依頼し、研修会を開催した。現場の様子を直接お聞きでき、たいへん充実した研修会となった。

今後も特別支援教育においては、多方面からの見方を大切にするため様々な領域からの講師をお願いしてより充実した研修会としていきたい。

9　各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックの教育研究部員を中心に企画・運営され，年間計画に基づいた研修が実施されている。コロナ禍の中で感染予防のためほとんどの計画がZoomを活用したオンライン形式による研修の開催となっている。

各園では、幼稚園ナビを活用した受講申し込みも軌道に乗り、ほとんどの園でスムーズな申し込み、シールの発行等ができており研修の充実につながっている。

Ⅱ　令和5年度に向けて

令和5年度は、かごしま国体や全国高等学校総合文化祭鹿児島大会が開催されることから、鹿児島市の全会場が優先予約され教職員研修大会の会場を確保できなかった。

したがって、第62回教職員研修大会鹿児島大会は鹿児島市を開催地とし、全体会をマリンパレスかごしまからハイブリッド形式で分科会を市内11の幼稚園にて対面形式で開催予定である。

今後、各地区においても1000人規模の会員を収容する会場を確保することが難しいことから鹿児島大会の運営が今後の各地区での大会の在り方のベースになると思われる。鹿児島市と連携をとりながら準備を進めていきたい。

また、次年度もコロナ禍の状況が続く場合は各種研修会及び部会等は、状況に応じて対面、オンライン、ハイブリッド形式で実施していく予定であるので、各園のご理解とご支援をお願いしたい。

政策振興委員会

活動報告及び今後の課題

政策振興委員長　若松　忠洋

1　R4県知事要望

⑴　私立幼稚園の「経常費補助金」及び各種補助金について

私立幼稚園の「経常費補助金」について、これまでも鹿児島県においては、国の予算措置相応の財源措置を講じていただいていますが、今後も文部科学省の計上する予算に準じて、相応の財源措置をお願いしました。また、同様に各種補助金制度についても、これを堅持するとともに令和5年度の補助の増額をお願いしました。

⑵　令和4年度私学助成園における処遇改善事業について

幼稚園（子ども・子育て支援新制度の施設型給付を受けるものを除く。）を設置する学校法人における幼稚園教諭等の処遇の改善のため、（月額9,000円）引き上げるための財政支援に取り組んでいただいているところですが、令和5年1月以降の国の財政支援の在り方についての変更部分に関してお願いしました。

⑶「施設機能推進強化対策費補助金」につい

て

施設における火災・地震等の災害時に備え、職員等の防災及び災害発生時の安全かつ、迅速な避難誘導体制を充実する等の施設の総合的な防災対策を図る取組み（経費 16 万円以上）を実施するための財政支援をお願いしました。

⑷　コロナ禍における物価高騰等に関する支援事業について

コロナ禍において物価高騰等に直面する子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、栄養バランスや量を保った従前どおりの給食等の実施が確保されるよう、又、スクールバス運行に関しての原油高騰等、雇用保険料率の変更や最低賃金値上げ等における幼稚園・認定こども園・保育所等負担増に対して必要な支援をお願いしました。

⑸　幼児教育センターの設置について

この事業は、幼児期の教育の重要性を認識し、地域の幼児教育の拠点となるものを設置して幼児教育・保育の質の向上に大きく貢献することを目的とするものです。私立幼稚園・認定こども園等におきましては、平成 30 年度から新しい「幼稚園教育要領」や「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が施行されたこと、また、令和元年 10 月より無償化が実施され、幼児教育の質の向上がますます求められることもあり「幼児教育センター・幼児教育アドバイザー」の設置を強く要望しました。

2　委員会活動

⑴　公明党意見交換会（国会議員、県議、市議）

⑵　自民党友好団体意見交換会（国会議員、県議、市議）

⑶　自民党県議団私学振興等教育問題調査会・幼稚園協会意見交換会

⑷　県知事への予算要望書提出

⑸　2022 かごしま政経セミナー出席

3　今後の課題

⑴　少子化対策としての保護者負担軽減の更なる推進

「子ども・子育て支援新制度」は８年目を迎え、全国的に待機児童ゼロの実現に向けた取り組みが続いてきました。県内におきましても幼児期の教育や保育、地域の様々な子育て支援の量の確保、質の向上を進めるための政策を講じられてきたと思っております。

そんな中 2019 年に「幼児教育・保育の無償化」が制度化され子育て世帯にとっては負担軽減となっています。しかしながら、３歳未満児の保育料においては完全無償化されておらず保護者の負担軽減が実現していません。少子化対策として早急に各地域の状況やニーズを調査いただき、「３歳未満児の保育料の無償化」に向けて政策の推進をお願いしていきたいです。

⑵　人口減少地域の幼稚園・保育所等の振興対策について

急速な少子高齢化において、これからも想定をはるかに上回る少子化が進んでいくことが考えられます。2025 年問題を境に、園児数の減少が進み、園運営のみならず、地域における子ども同士の関わりや保護者同士のつながりの希薄化に拍車がかかり、子育て環境に危機感を抱きます。引き続き今後の振興対策について検討していきます。

経営研究委員会

活　動　報　告

経営研究委員長　武　　祥三

令和４年度から始まった２カ年の１カ年目、令和４年度に計画した主な活動は以下の通りです。

①　令和３年度財務状況調査及び分析

②　ライカ南国ホールでの合同就職説明会開催

③　第38回全日本幼稚園連合会九州地区会　設置者・園長研修大会　沖縄大会（オンライン）　ならびに九州地区次世代交流会開催（中止）

④　全国（長崎県）設置者・園長研修大会への参加

⑤　九州地区合同就職説明会（福岡市）への参加（参加できず）

⑥　私立幼稚園４団体教育交流会（岐阜県）（３年ぶりに開催）

⑦　プロジェクトＫの活動支援

⑧　オンライン合同就職説明会の開催

令和４年度の大きな成果としては、対面式合同

就職説明会「かごしまの幼稚園就活応援フェア」をライカ南国ホールにおいて開催できたことです。令和３年度はアミュ広場：屋外開催でしたが、今年度は屋内開催とし、天候や暑さを気にせずにできたことは43の参加園・法人にとっては、負担の軽減になったのではないかと思っています。また参加園とは別に、養成校４校にブースを提供し、これまでの就職説明会にはなかったことにも取り組むことができました。来場者の増加や広報活動にはまだまだ課題も多いところですが、養成校とのつながりを強化しながら、参加園へのアンケートも行い、令和５年度の開催に向けてはすでに動き始めているところです。

令和５年度の「かごしまの幼稚園就活応援フェア」は、参加園の希望や県内養成校の行事伺いを経て、引き続きライカ南国ホールにおいて７月の開催を計画しています。今年度以上に充実したイベントとなるよう準備してまいりますので、多くの園様の参加をお待ちしております。

秋には、県設置者・園長研究協議会を開催しました。ハイブリット形式も考えましたが、年に数回、県内の理事長・園長先生方との直接の交流は大切なものとの思いから、対面式での開催といたしました。またその翌日には、私立幼稚園４団体教育交流会（岐阜県）に常任理事が参加し、それに合わせる形でプロジェクトKの皆さんの計画により、名古屋の園への見学・交流会も実施できました。引き続き新型コロナウイルスが猛威を振るった令和４年度でしたが、来年度は徐々に明るい方向に向かいつつあります。ここ３年ほどできなかったことを積極的に再開させ、見学・交流会はできることなら回数を増やして、多くの園長先生方、後継者の先生方との交流を増やせればと願っています。

経営研究委員会・部会としましては、横の連携強化を図ろうと、特に調査広報委員会とのつながりを強化しつつある昨年度そして今年度でした。イベント開催における広報活動やオンライン就職説明会では、多くの助言や協力をもらい、新しい風を感じている委員会・部会活動です。

課題をしっかり引き継ぎ発展する経営研究委員会・部会活動となるため、部員それぞれの良さや力が生かせる委員会にして参りたいと思います。今後とも応援よろしくお願いいたします。

調査広報委員会

活　動　報　告

調査広報委員長　田原　慎也

昨年度までご担当された先生方のご尽力により、全面リニューアルした鹿児島県私立幼稚園協会ホームページ「むぞかネット」を本年度から本格的に公開・運用することとなりました。加盟園の皆様方にも多くのご協力を賜りありがとうございました。

本年度、本委員会で実施した主な活動は以下の通りです。

１．「ようちえんって楽しい」No.33の発行
２．「鹿私幼だより」No.82の発行
３．むぞかネットの定期更新（コラム・絵本紹介）やイベント案内
４．オンライン合同就職説明会の運営サポート（アーカイブ視聴も可能に）
５．「自園の魅力発信！保育の魅力発信！SNS研修会」の開催
６．園運営セミナー「電帳法対応および人口減少社会における園運営と保育を考える」の開催
７．文部科学省作成のパンフレット「一人一人のよさを未来へつなぐ」希望園への斡旋
８．幼稚園ナビの登録推進

鹿児島県の様々な幼稚園・こども園を知って頂くこと、ひいては幼児教育・保育の魅力を伝えることを主眼に、活動に取り組んできましたが、広報紙などの紙媒体やホームページが結果としてどれだけの方に見て頂けているのかという課題は常に残ります。

届けたい人に届くような情報ツールの検討（蓄積と拡散）、コンテンツの企画・構成など皆様からもご意見頂きながらこれからも進めて参りたいと思います。

また、本年度は調査・発信という役割をより広い視野で行うべく、今日的課題をピックアップして新たな研修を企画・運営しました。

次年度も様々な発信をしていきたいと思います。今後ともご協力お願い致します。

鹿児島市支部

鹿児島市支部では、総務・政策・経営研究・教育研究・広報の５常置委員会を設け、それぞれの委員会が年間計画を立て実践したが、令和４年度も新型コロナウイルス感染防止の関係で、思うような活動ができなかった。

１　重点課題

⑴　こども未来局との連携強化と各補助金の増額要望
・市内全域の子育て環境の充実
・コロナ対策
・保育者の確保
・乳幼児教育の質確保

⑵　加盟園全園の一致協力した協会事業の取り組みとPTA・振興議員との連携

⑶　保育者の資質向上と教育・保育の質向上を目指すための保育研究の充実と各種研修会への参加促進

⑷　自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実

⑸　幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実
・「リビングかごしま」との連携
・ホームページのリニューアル

⑹　円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校長会との連携・充実

⑺　個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成

⑻　乳幼児の健やかな育ちのために、保健・衛生・食育の充実

⑼　安心・安全で楽しい幼稚園の環境づくりへの取組み強化

２　総務委員会

⑴「ホームページだより」の充実を図り、情報の共有化を図る。

⑵　幼稚園免許の上進に向けての情報提供

⑶　「私立幼稚園・認定こども園ガイドブック」の作成と、公共機関や大学等への配布

３　政策委員会

⑴　市当局への助成等の要望（市長・局長・議長・振興議員）とこども未来局との連携

⑵　加盟園全園の一致協力した活動の取組みとPTA・振興議員との連携
・振興議員との懇話会（７月15日金曜日）
※協会の取り組みについて協力をお願いした。

４　経営研究委員会

⑴　理事長・園長研修会にて、働き方改革に関する研修を企画したが、コロナウイルス対策のため、６月29日（水）福島豪先生に離職者の課題についての講義のみを実施しました。

⑵　若手リーダー養成研修会　12月21日(水)若手教員の研修充実のため実施しました。
講師　廣瀬健一郎氏（鹿児島純心女子大学教授）「子どもの姿を語り合おうーカリキュラム・マネジメント入門ー」

⑶　主幹・主任・中核リーダー等研修会　12月23日（金）　対面で実施しました。
講師　千々岩弘一氏（鹿児島国際大学副学長）『幼稚園教育における「言葉」に関する諸問題』
※⑵・⑶　共にコロナ禍だったが、安全を期して対面で実施できました。

５　教育研究委員会

⑴　教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実

⑵　研修会の参加促進を図りました。

⑶　主幹・主任教諭の資質向上（主任等研修会の充実）を図りました。

⑷　主任研修会は、４月・７月・９月・11月・２月（予定）５回実施しました。

６　広報委員会

⑴「かごしま市私立幼稚園・認定こども園だより」を発行しました。

⑵　新入園児募集の広報活動をしました。

⑶　ホームページを全面リニューアルし、充実した情報提供が出来るようにしました。

（支部長　富永　宏）

南　薩　支　部

南薩支部は、枕崎市２園、指宿市６園、南さつま市２園、南九州市２園の計12園が加盟しています。

令和４年度の活動としましては、年度初めの４月にオンラインで園長主任会開催し積極的な意見も多くありました。

しかしその後新型コロナウイルスの感染状況が悪くなり、教職員の研修会など計画通り行うことはできませんでした。

また南薩支部のPTA活動においては、総会も書面決議となり、その他のPTA活動は自粛という一年となってしまいました。

今年度も残りわずかとなりましたが、２月23日に南薩市部では初の試みとなるオンラインによるキャリアアップの研修会を開催予定です。３月８日には園長主任会を開催し、来年度へ向けて準備を整えていこうと考えております。

来年度からいよいよ長かったコロナ禍も落ち着きそうです。南薩支部で連携を深めながら支部活動を盛り上げていきたいと考えています。

（支部長　池水　大地）

西　薩　支　部

西薩支部では今年度、８月25日にオンラインにて令和４年度鹿児島県私立幼稚園協会西薩支部夏季教職員研修会を開催致しました。講義の内容として鹿児島純心女子大学教授の釘田雅司先生に「発達障害のある子どもの理解とそのよさを生かす支援の進め方」を講演して頂きました。

その中で鹿児島県の発達障害の統計を示して頂きながら特別支援の在り方、保護者対応など分かりやすく説明して下さりました。又、録画での配信になりましたが、日本幼年教育研究会の高附恵子先生より「保育実技　－保育に役立つ！楽しい遊びのアイデアー」をテーマに指遊び、制作等を実技して頂きました。

更には９月と１月にオンラインでの西薩支部給食担当者情報交換会を開催し、その他にも園長会、オンラインでの主任会・教育研究委員会を開催しました。

尚、例年開催される西薩支部総会は今年度もコロナ禍のため書面決議での開催となりました。西薩支部PTAで開催される西薩ママさんバレーボール大会も今年度も感染防止の為、中止となりました。

今年度もコロナ禍の為、西薩支部活動はオンラインが中心の活動になりましたが、西薩支部は出水郡長島町から日置市と広範囲に及ぶため各園の負担軽減等に繋がっているメリットもあり、オンラインを通して研修会等へ参加しやすくなりました。

来年度はメリットを十分に活かしながら対面・オンラインのバランスを取りながら益々の西薩支部の充実した活動を目指していきたいと思います。

（支部長　笠置　孝淳）

大　隅　支　部

大隅支部では、３月 23 日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を５月 28 日、ホテルさつき苑で開催。昨年に続き対面での研修会は昼食を挟まずに午後からスタート。丸田愛子先生（鹿児島国際大学准教授）をお迎えして、「子どものやさしさや思いやりの育ちを考える」と題して講演をいただき、後半の分科会では問題提起園である日の出幼稚園のレポートを中心に学びを深めました。同園は問題提起者の花田史子先生を中心に、７月の県大会第１分科会での発表に臨まれました。また「主任研修会」は隔月奇数月、年６回開催。対面で様々なテーマに基づき学びと情報交換を重ねました。中でも 11 月は鹿屋養護学校の西育子先生を講師に、特別支援教育に特化した研修会を行いました。また昨年より計画していた 15 時間のマネジメント研修を、熊毛・大島支部との共催で 11 月３日、23 日の２回に分けてオンラインで実施することができました。ニーズがあれば、次年度以降も支部でのキャリアアップ研修を検討していきたいと思います。加盟 21 園のご協力に心から感謝申し上げます。

（支部長　吉井健）

姶良・伊佐支部

長く続くコロナ禍となりましたが、令和４年度は取り巻く環境に少しずつ明るい兆しがみられたように感じます。支部においては Zoom を活用した、諸会議や PTA 活動、研修会等を実施することが出来ました。今後も状況に応じて対面での活動や Zoom を活用した取組みをさらに充実して実施していきたいと考えます。

①　資質向上研修会Ⅰ・資質向上研修会Ⅱの実施（Zoom にて実施）

姶良伊佐地区教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って毎年実施。

・第１回資質向上研修会

講演　「コミュニケーションのコツ」

講師　平川　忠敏 氏

（鹿児島大学名誉教授 心理学博士･臨床心理士）

・第２回資質向上研修会

講演「幼児教育における音楽的活動の実践と保育者の役割動きを取り入れた歌あそびを通して」

講師　中村　佳代子 氏

（第一幼児教育短期大学講師）

②　姶良伊佐地区教職員研修会・主任研修会・設置者園長会の実施

地区教職員研修会においては、Zoom を活用した諸会議や研修会等を実施。

講演「保護者支援

～特別支援・虐待対応をふまえて～」

講師　松﨑　優 氏

（第一幼児教育短期大学教授）

③　合同就職説明会参加

県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会に希望園が参加。人材確保は以前厳しい状況であるが、今後に向けて支部でも検討していきたい。

④　人材確保への対応

近年の学生就職状況を確認。県外就職や小規模・企業主導型の園へ希望する学生もいる中、人材確保については、いぜん解消出来ない課題となっている。

⑤　新型コロナウイルス感染症への対応

姶良伊佐支部各園において感染防止・予防対策に取り組んできた。

⑥　その他の活動

姶良伊佐地区 PTA 連合大会開催（YouTube）及び PTA 理事会（年４回）

国会議員時局講演会参加

霧島市幼稚園･保育園合同会議の開催（市長･市議出席）

霧島市健康福祉まつりブース出展

（支部長　若松　忠洋）

熊毛・大島支部

離島、種子島６園・屋久島３園・徳之島２園からなる熊毛・大島支部では、全園を会して、お互いに交流をもつことができないのが現状です。しかしながら、それぞれが持つ自然や風土を活かしながらそれぞれに特色のある教育活動を実践しています。

熊毛地区では例年６月と年明けの１月の年２回、園を持ち回りに 3、40 名ほどの職員が両島を行き来して研修を行っています。今年度もコロナの影響もありましたが、夏期研修として６月４日にハイブリッド形式で、冬期研修として１月 21 日に対面で研修を実施することが出来ました。夏期研修は教研大会のテーマに基づいた各園の実践発表、問題提起園の深い研究発表を行い、グループディスカッションで意見交換が行われました。冬期研修では２年次の実践発表、園長先生方も一緒にゲームを取り入れた組織における報連相の意識付けなどを行い交流も深めました。また、園長会では様々な分野の研修の計画と意見を出し合っていただきながら次年度の計画の見通しを立てられました。離島ながらの各園、様々な問題点を抱えていますが離島の魅力を活かしながら、協力し合い、高め合いながら活動に取り組めたらと思います。支部園の皆さまありがとうございます。

（支部長　岩川臣之介）

令和５年度の主な行事（予定）　＝ 2023 ＝

行　事　名	期　日	場　所
第１回新規採用教員研修会	４／３（月）	マリンパレスかごしま
県私幼協会・県ＰＴＡ連合会監事監査	４／12（水）	協会事務局
（一社）県私幼協会理事会	４月中旬予定	未　定
県ＰＴＡ連合会指導者研修会	５／９（火）	鹿児島サンロイヤルホテル
（一社）県私幼協会総会 （一社）県私幼退職金基金社団総会	５月予定	未　定
県ＰＴＡ連合会総会	５／30（火）	鹿児島市勤労者交流センター多目的ホール
県主任等研修会	６月予定	未　定
第39回九州地区設置・園長研修大会福岡大会	７／13（木） ７／14（金）	グランドハイアット福岡
かごしまのようちえん就活応援フェア	７月予定	ライカ南国ホール
土曜日講座	７／29（土）	オンライン
第24回乳幼児教育・保育実践講座	８／８（火）	マリンパレスかごしま

行　事　名	期　日	場　所
第39回九州地区教師研修大会大分大会	８／３（木） ８／４（金）	JCOMホルトホール大分より配信
第14回幼児教育実践学会	８／18（土） ８／19（日）	東京都・大妻女子大学千代田キャンパス
設置者・園長研修大会（県私幼）	９月予定	城山ホテル鹿児島
第１回マネジメント研修会	10／20（金）	マリンパレスかごしま
全日私幼設置者・園長全国研修会	10／23（月） 10／24（火）	山形県
令和５年度保育教諭等研修会	11／７（火）	マリンパレスかごしま
第45回鹿児島県私立幼稚園ＰＴＡ連合大会	12／５（火）	川商ホール
第２回新規採用教員研修会	12／26（火）	マリンパレスかごしま
第27回幼稚園等教育改善研究会	１／25（木） １／26（金）	マリンパレスかごしま
第１回マネジメント研修会	２／１（木）	マリンパレスかごしま
特別支援教育スキルアップ研修会	３月前半	未　定

※上記の研修会等は予定ですので、変更になる場合もございます。

令和５年度（2023年度）
第62回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会　鹿児島大会（案）
第１日目：対面形式　第２日目：ハイブリッド形式

大会テーマ「新しい時代を伸びやかに生きる」（４年次）
～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

〔日　程〕

第１日目　７月24日(月)【分科会：鹿児島市内の11の幼稚園等】

9:30	10:00	11:30	11:45	12:45	15:35	15:45
受付	公開保育（会場園見学）	開会行事	昼食	問題提起・分科会（中間に休息・後半に指導助言）	閉会行事諸連絡	解散

・公開保育の場合、密を避けるため参観者の人数制限を設ける場合も考えられる。

第２日目　７月25日(火)【全体会：マリンパレスかごしまより配信】

9:00	9:30	10:00	10:30	10:45	12:15	12:30
受付入室	市で検討	開会式	準備	講　演	閉会式	解散退出